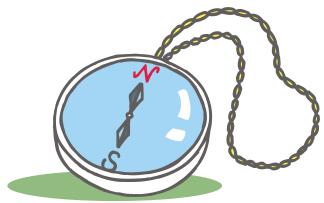


羅針盤



第 14 号

令和3年(2021年)7月20日(火)

◆ 節(ふし)をつくるために

明日から35日間の夏季休業期間、いわゆる夏休みに入ります。昨年度はコロナ禍の影響により休業期間も大幅に短縮されましたが、今年度は通常の夏季休業期間となります。学習活動や部活動に限ることなく、日頃は時間を十分にかけて取り組めないような内容にも、生徒の皆さんには是非チャレンジしてもらいたいものです。そして、有意義な時間を過ごす中で、自分自身の「有り様」にも向き合い、一ヶ月先、一年先、あるいは、十年先の自分を想像する中で、自分の将来像を見据えてほしいと考えます。始業式の日には、一人ひとりが自主・自立の確立に向けて、心掛けてほしい3つの事がらである『あ・ひ・る』人間になろうを継続していくこうとお話をしました。生徒会の目標として掲げられた「あひる人間になろう!」というスローガンのもと、「あいさつができる人になる」、「人の話を素直に聞くことができる人になる」、「ルールを守ることができる人になる」これら的心掛けてほしい3つのことがらについては、1学期の終業式を迎えた今日のこの日に、もう一度しっかりと振り返ってみてほしいと思います。今一度、一人ひとりが責任ある行動をして学校生活を過ごせたのかを自分自身に問いかけてみてください。そして、この夏季休業中に、2学期に向けてしっかりとした節(ふし)づくりに励んでもらいたいと思います。10mを超える高さにまで成長する竹も、最初はわずかながらに地面から出てくる小さな「竹の子」です。しかしながら、「竹の子」を縦に半分に切ってみるとよくわかりますが、「竹の子」の中には将来の節(ふし)となるところがたくさん詰まっています。外側からは見えない部分ですが、やがて大きく成長していくと、しっかりとした節(ふし)をつくりながら、立派な竹になっていきます。折れることなく、そして、まっすぐに成長していくために、何よりもこのしっかりとした節(ふし)をつくることが大切なことです。そのことが、やがては大きな「夢の実現」に繋がっていくことになります。まずは、与えられた宿題や課題を仕上げてしまうことです。一ヶ月後の2学期の始業式の日には、自信を持ってしっかりとした節(ふし)をつくることができたと言えるように、大いに皆さんの成長に期待しています。健康には十分に留意して、元気な姿で、2学期の始業式にお会いしましょう。

※「竹の子」は、漢字一文字で「筍」と書きます。雨が降ると「竹の子」は、すくすくと育ち、10日もすれば1mも超える高さまで直ぐに育つそうです。「筍」という字は、10日間を意味する「旬」から来ているそうです。



明日より35日間の夏季休業期間に入ります。長期にわたる夏休みでとりますが、ご家庭でも、健康には十分な注意を払いながら、子どもたちが規則正しい生活を過ごせますよう、ご指導をお願いいたします。また、2学期以降も引き続き、住吉中学校の全ての子どもたちのために、よりよい教育活動を展開して参りますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。(校長 坂井伸治)

